

県内経済の動き

10月の基調判断 新型コロナウイルスの影響で弱い動きが続いているものの、一部で持ち直している

製造業	→	持ち直しの兆し	公共工事	→	持ち直しの動き
大型小売店販売動向	→	横ばい	観光	→	一部に明るさがみられる
乗用車販売動向	→	横ばい	雇用	→	高めの水準であるものの、弱い動き
住宅着工	→	弱含み	企業倒産	→	低水準で推移している

[直近の3ヵ月(8月~10月)の変化の方向] → 上向き → 横ばい → 下向き

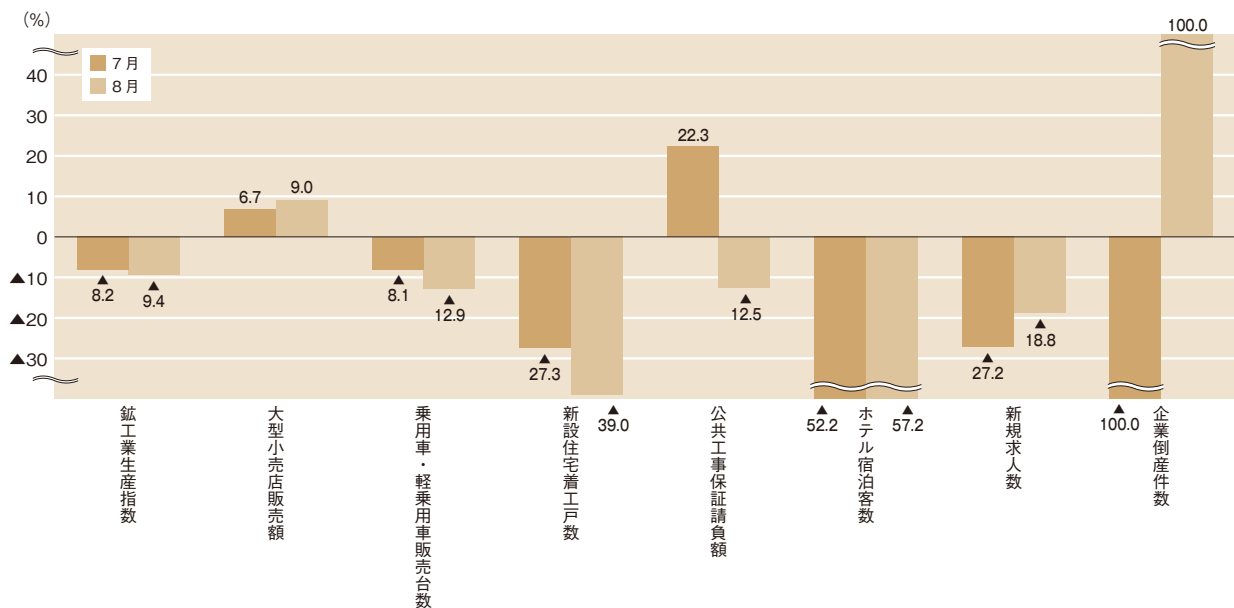
注) 大型小売店販売動向は、百貨店・スーパー・専門量販店(家電大型専門店・ドラッグストア・ホームセンター)の販売動向

大分県の主要経済指標の動き

	2019.8	9	10	11	12	2020.1	2	3	4	5	6	7	8
鉱工業生産指数	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	—
大型小売店販売額	○	○	●	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○
乗用車・軽乗用車販売台数	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
新設住宅着工戸数	●	●	○	○	●	○	○	○	●	●	○	●	●
公共工事保証請負額	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	●
ホテル宿泊客数	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
新規求人数	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
企業倒産件数	△	○	○	○	●	●	●	○	●	●	○	○	●
プラス指標の割合	37.5	50.0	50.0	25.0	12.5	37.5	37.5	62.5	0.0	25.0	50.0	37.5	14.3

注) 1. 指標は前年同月比較 ○=前年比好転 △=前年並み ●=前年比悪化
 2. 鉱工業生産指数は公表日の関係から最新月「—」表示
 3. 大型小売店販売額は、百貨店・スーパー販売額と専門量販店(家電大型専門店・ドラッグストア・ホームセンター)販売額の計
 4. 公共工事保証請負額は西日本建設業保証分
 5. ホテル宿泊客数は県内宿泊施設の計

県内主要経済指標(7月・8月分の前年同月比)



注) 1. 鉱工業生産指数は他の指標の各1ヵ月前の数字
 2. 大型小売店販売額は、百貨店・スーパー販売額と専門量販店(家電大型専門店・ドラッグストア・ホームセンター)販売額の計
 3. 公共工事保証請負額は西日本建設業保証分
 4. ホテル宿泊客数は県内宿泊施設の計